

報道機関 各位

熊本大学

熊本大学主催サイエンスカフェを開催 ～五感が生み出す錯覚カフェ～

この度、熊本大学 人文社会科学系国際共同研究拠点が主催となり、一般市民の方を対象としたサイエンスカフェを下記のとおり実施いたします。地域の皆様の知的な好奇心を満たすと共に、研究をわかりやすく知って頂ける機会と考えております。つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方よろしくお願い致します。

記

【開催日】 平成27年8月23日（日）14:00～15:30

【場所】 熊本市現代美術館 「アートロフト」

【演題】 五感が生み出す 錯覚カフェ

【実施者】

講演者

積山 薫 熊本大学 文学部 教授

寺本 渉 熊本大学 文学部 准教授

ファシリテータ

高橋 直美 国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター

【定員】 定員30名（中学生以上推奨）

【当日内容】 ※詳細は参考 URL または添付のチラシをご参考下さい。

説明タイム

主要内容・目で見ると感じる錯覚、耳で聞く錯覚、肌で感じる錯覚？

- ・ 錯覚を体験してみよう
- ・ 脳では何が起きているの？
- ・ あなたの認識するその世界は本物？
- ・ 認知心理学という研究分野

実演・質問タイム

- ・ 1テーブル（班）に1名ずつ説明担当者がつきます。
- ・ 実際に装置等を使って錯覚が体験できます。

【参考 URL】 <http://www-cms.jimu.kumamoto-u.ac.jp/kenkyuu/news/20150823>

【企画運営・お問い合わせ先】

熊本大学 大学院先導機構 URA 推進室

研究コーディネーター（URA） 福田直子・黒木優太郎

電話：096-342-3307

e-mail：k-kyoten@jimu.kumamoto-u.ac.jp

企画の趣旨

現在、一般市民の皆様の科学への興味関心が高まっており、研究内容を一般の方へ説明する事へのニーズが高まっています。この事に関して熊本大学はこれまでも公開講座、授業解放や出前講義など、「地域に開かれた大学」として、知的好奇心がくすぐられる学習機会を地域の皆様に提供して参りました。しかし一方では、「大学はどうしても敷居が高い」「研究について知りたいけれど機会が無い」「授業を聞いても難しすぎて理解できない」といった声も良く聞かれます。

そこで今年の2月に本学教員が大学から出て、地域の皆様が普段活用している場所で、授業でも講義でもない「サイエンスカフェ」を本学のURA^{※1}主催で行いました。

サイエンスカフェとは、科学者などの専門家と一般の方々が、コーヒーなどを手に気軽に科学などの話題について自由に語り合う新しいコミュニケーションの場です。従来のシンポジウムやセミナーと異なり、講演者と参加者とが会話の中で素朴な意見や質問を気軽に、自由に交わすことができます。2月に開催したサイエンスカフェではウェアラブルデバイスと呼ばれる装置を用いて「てんかん」の発作予知を行う研究について紹介しました。

今回は、視覚だけでなく聴覚や触覚で感じる錯覚を題材に、認知心理学の研究について紹介します。まずは錯覚を体験していただくことから始まり、錯覚はなぜ起こるのか、認知心理学という分野で何が研究されているのかを一般市民にわかりやすく説明します。

また、地域の皆様が参加しやすいように休日の現代美術館で開催し、参加者は数班に分かれて1班につき一人の説明者が付き添いながら錯覚を体験できますので、実際に研究に「触れる」事ができます。

当日のファシリテーションは、国立科学博物館認定のサイエンスコミュニケーター^{※2}が行います。

今回のサイエンスカフェを通じて、地域の皆様の知的好奇心が満たされると共に、熊本大学の研究がどのように行われているのかを知って頂く機会となればと考えております。

※1 URA：研究コーディネーター（University Research Administrator）。熊本大学では、学内の研究者の研究内容を深く理解し、研究者とともに研究活動を組織として円滑に実施するための業務を行うことが可能な専門的な職員として、研究推進戦略、産学連携を担当するURAが活動しています。

※2 サイエンスコミュニケーター：科学者や技術者と市民とをつなげ、科学と社会の間に双方向のコミュニケーションを生み出す人材。科学技術の魅力や研究活動の実際をよりよく伝え、科学技術のあり方を市民一人ひとりとともに考えていくための新しい方法を研究・実践しています。（日本科学未来館より一部抜粋）